

宮城県の政策医療の課題解決に向けた 県立病院等の今後の方向性

・少子高齢化と人口減少の進展等により、今後、限られた医療資源の中で、政策医療の課題を解決しながら、適切な医療を持続的かつ安定的に提供していくためには、地域の医療機能の補完・連携を一層進めることが必要不可欠となっている。

(1) がん医療

課題

- ・人口減少、がん医療の均てん化
- ・合併症への対応

方向性

- ・「がんを総合的に診療できる機能を有する病院」の実現
- ・東北大学との役割分担による高度がん医療提供体制の見直し

(2) 精神医療

課題

- ・身体合併症・複数疾患への対応
- ・精神医療センターの老朽化
- ・通年夜間の精神科救急を担う精神医療センターの強化

方向性

- ・一般病院との連携強化
- ・精神医療センターの早期建替え
- ・全県をカバーする精神科救急体制の強化

東北労災病院

仙台赤十字病院

県立がんセンター

県立精神医療センター

仙台医療圏

(5) 災害医療

課題

- ・災害拠点病院が仙台市内に集中

方向性

- ・災害拠点病院の分散化

(6) 新興感染症

課題

- ・新興感染症への対応

方向性

- ・感染拡大時における病床の確保や検査体制・発熱外来等の機能強化

(3) 周産期医療

課題

- ・総合周産期母子医療センター等の三次医療施設が仙台市内に集中
- ・地域の分娩体制の維持に向けた連携・補完の体制確保が必要

方向性

- ・全県を視野に持続可能な周産期医療体制の確保

(4) 救急医療

課題

- ・救急搬送受入機能が仙台市内に集中
- ・救急搬送に時間を要する地域の搬送時間短縮が必要

方向性

- ・救急搬送実態を踏まえたバランスのとれた救急医療体制の構築